

衆議院災害対策特別委員会ニュース

平成 23.2.17 第 177 回国会第 2 号

2 月 17 日（木）第 2 回の委員会が開かれました。

1 平成 22 年 11 月からの大雪により亡くなられた方々に対し、黙祷をささげました。

2 災害対策に関する件（平成 22 年 11 月からの大雪及び霧島山（新燃岳）の噴火による被害状況等）

- ・平成 22 年 11 月からの大雪及び霧島山（新燃岳）の噴火による被害状況等について、松本国土大臣（防災担当）から説明を聴取しました。
- ・松本国土大臣（防災担当）、筒井農林水産大臣副大臣、園田内閣府大臣政務官、逢坂総務大臣政務官、森田総務大臣政務官、吉田財務大臣政務官、岡本厚生労働大臣政務官、小林厚生労働大臣政務官、田名部農林水産大臣政務官、市村国土交通大臣政務官、小泉国土交通大臣政務官、津川国土交通大臣政務官、樋高環境大臣政務官、松本防衛大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

皆 吉 稲 生君（民主）

霧島山（新燃岳）の噴火

- ・霧島山（新燃岳）噴火に係る被害状況の認識と今後の対応に関して防災担当大臣の決意を伺いたい。
- ・活動火山対策特別措置法に基づく避難施設緊急整備地域の指定に係る調査の進捗状況及びいつ指定になるかについて防災担当大臣の見解を伺いたい。
- ・周辺地域では、旅館やホテルの宿泊キャンセルの風評被害や従業員の雇用問題が発生しているが、観光産業への経済的影響に対してどのような対策を進めていくのか。

近 藤 和 也君（民主）

平成 22 年 11 月からの大雪

- ・今冬期の大雪による人的被害等は、除雪経費及び除雪作業員の不足が一因であると考えられるが、国は特別交付税の交付等今後どのような措置を講じていくのか。
- ・農林水産関係で被害額はどれくらいなのか、また、今後、このような被害に対しどのように対応をしていくのか。
- ・自衛隊が災害派遣を行った都道府県、派遣地での活動内容とそれを踏まえた今後の反省点について伺いたい。

森 山 裕君（自民）

- ・大正 3 年の桜島爆発の際に建立された記念碑では、村長が測候所の火山の活動状況に関する判断を信じて避難に及ばずと伝えたがために被害が拡大した旨の言葉がある。この件について防災担当大臣の所感を伺いたい。また、この惨事を今後の行政にどうかしていく考えか。
- ・桜島では、降灰が続く中、農業を続けているため、防災

営農施設整備事業が実施されてきたが、来年度から事業費については、すべて交付金で措置されることになった。交付金では他の事業が優先される可能性があることから、補助で防災営農事業を実施することを検討する必要があるのではないか。

重 野 安 正君（社民）

霧島山（新燃岳）の噴火

- ・降灰除去のための路面清掃車のオペレーターが不足しているとのことだが、対応状況はどうなっているか。

平成 22 年 11 月からの大雪被害

- ・直轄国道の除雪のための経費が不足しつつあるが、事業仕分けによる直轄国道の維持管理予算の縮減が、豪雪被害に対応できない原因となったのではないかと。

小 里 泰 弘君（自民）

霧島山（新燃岳）の噴火

- ・降灰により農地が酸性化しているが、土壌改良のための対応策について伺いたい。
- ・山の斜面に大量の降灰が堆積し、降雨により土石流が発生するおそれがあるが、その対策の進捗状況はどのようなになっているのか。

谷 公 一君（自民）

平成 22 年 11 月からの大雪

- ・今冬の全国の除雪費用の見通し、あるいは過去の実績はどのようなになっているのか。また、市町村道に対する除雪費用に対する特別交付税の交付予定額はどれくらいか。

- ・年末年始に記録的な大雪により、鳥取県の国道9号で約1,000台の車が立ち往生したが、このような基幹道路の通行を確保するためにどのような方策を検討しているのか。

鳥インフルエンザ対策

- ・家畜伝染病予防法の適用外となる天然記念物のツル等野鳥の鳥インフルエンザ感染が発見された場合に適切な対応が行えるよう法整備を検討すべきと考えるが、防災担当大臣の所見を伺いたい。

長 島 忠 美君（自民）

平成22年11月からの大雪

- ・降雪や除雪に要する費用については一律ではなく、地域の特性に則した配分が必要だと思われるが、防災担当大臣の所見を伺いたい。
- ・高齢者の屋根の雪下ろし等除雪作業中の死亡事故を減らすために市町村が人手を確保する等、柔軟に対処できるよう行政の体制の見直しが必要であると思われるが、防災担当大臣の所見を伺いたい。

石 田 祝 稔君（公明）

平成22年11月からの大雪

- ・除排雪費の支援については、特別交付税の増額で行うと他の地域にも影響が及び、社会資本整備総合交付金も26億しか残っていないことから、予備費を活用するべきではないか。
- ・災害救助法の適用により、障害物の除去として要援護者世帯の除排雪を実施しているが、限度額の増額や対象の拡大、期間の延長は可能か。

江 田 康 幸君（公明）

霧島山（新燃岳）の噴火

- ・降雨による土石流の発生が予測されるが、砂防堰堤の緊急除石工事等の対策を講じるとともに、より詳細なハザードマップを作成するべきではないか。
- ・降灰や日照不足による農作物の被害について、農業共済保険の損害評価及び共済金の支払いを迅速に行うとともに、未加入の農家への支援策も図るべきではないか。

赤 嶺 政 賢君（共産）

霧島山（新燃岳）の噴火

- ・被害の救済や支援については、現行制度にない新たな支援策も実施するべきではないか。
- ・高齢者や要介護者にとって通常の避難所での生活は負担が大きいため、社会福祉施設や温泉施設等を災害救助法

の避難所として利用することはできるか。

古 川 禎 久君（自民）

霧島山（新燃岳）の噴火

- ・防災担当大臣が現地視察でどのようなことを感じたのか伺いたい。
- ・降雨による土石流の発生が予測されるが、犠牲者を出さないよう、国土交通省は万全の対策をとっているか。